

第1回久度地区分科会を開催しました（令和3年3月3日）

令和2年11月に「王寺駅周辺再整備推進会議」を立ち上げ、現在に至るまで2回開催しました。王寺駅北側エリアの検討を進めるにあたり、関係自治会（東御幸・御幸・在原・玉井・小松・古寺）との意見交換の場として「久度地区分科会」を立ち上げ、令和3年3月3日に開催しました。「久度地区分科会」でいただいた意見は、「王寺駅周辺再整備推進会議」でも共有し、その内容について議論を重ねていきます。

会議の内容

事務局から、これまでの王寺駅周辺再整備推進会議の進捗状況を報告しました。また、王寺駅北側エリアのまちづくりの考え方（案）について説明した後、参加者に意見を求めました。

駅北エリアに対する主な意見

- <久度地区全体のまちづくりについて>
- ・ 住み心地ランキング（※）1位の結果が出ている通り、住民は今の住み心地を評価している。今が住みやすいので、このままで良いと思っている人は多い。
 - ・ 戸建て住宅の住民の多くは高齢者。高齢者は死ぬまでこの地に住みたいと思っている。相続人となる子世代は親と同居していない世帯が多く、子世代の多くが出て行っている。
 - ・ 売地は減多に出ない。積極的に土地を売りたいと考えている人は少ないと思われる。土地と建物の所有者が違う場合も多い。
 - ・ 道路整備を行う場合、道路にかかる部分だけ買収されて、土地が小さくなって残っては困る。
- <低未利用地（駐車場・空き地）について>
- ・ 地区に駐車場が多くあるが、特定の所有者が多くの土地を持っている。その人たちは、駐車場で満足している。
- <高さ規制について>
- ・ 建物の高さがあると日光が当たらないので高層化は望まない。今でもリーベルがあるため、冬は日光が当たりにくい。
- <花緒街について>
- ・ 空き地・駐車場が多いが、土地所有者が町外の者であるため、今後どうしていきたいのかは不明。
 - ・ 駐車場のままではもったいないという思いはある。
 - ・ 昔は、アーケード商店街として、各地から列車で買い付けにくるほど栄えていた。現在は、商売をやめて普通に暮らしている高齢者がほとんどで、現在の住まいで余生を過ごすという考えを持っている。
 - ・ 花緒街は駅改札から近く、立地に恵まれており、先行して整備することで、他の地域にも波及していくのではないかと。
- <その他>
- ・ 若い世代の意見を聞いた方が良い。

（※）街の住みこち「自治体」ランキング全国版2020
（大東建託株式会社調査）



久度地区分科会の様子

これまでの取組及び今後のプロセス

奈良県とまちづくりに関する包括協定締結
（平成28年）

王寺駅周辺地区まちづくり基本構想策定
（平成30年）

駅北エリアの検討

久度地区まちづくりワークショップ
（令和元年）

王寺駅周辺再整備推進会議
（令和2年～）

<検討項目（予定）>

- ・ 駅北エリアのまちづくりの方向性
 - ・ 中央公民館の跡地活用、花緒街の活性化、道路ネットワーク形成
 - ・ 事業手法、事業スケジュール等
- ※令和3年度中に駅北エリアの計画を取りまとめる予定

久度地区分科会
（令和2年～）

駅南エリアの検討

王寺駅周辺地区まちづくり基本計画策定